

右左腎・尿管摘除術を受けられる患者様へ

様

看護師

病棟名 _____

経過	入院時	手術当日手術前	手術当日手術後	手術翌日	術後2日目	術後3-6日目	術後7日目	術後9日目(退院)
日時	入院日(/ /)	(/ /)	(/ /)	(/ /)	(/ /)	(/ /)	(/ /)	(/ /)
目標	・術前オリエンテーション、面談内容が理解でき、不安が表出・緩和できる ・手術に身体的、精神的に安定した状態で臨むことができる		・脈や血圧が安定している ・呼吸状態が安定している ・苦痛があることを医療者に伝えることができる ・苦痛が最小限にコントロールされる		・鎮痛剤を定期的に使用し、疼痛コントロールができる ・一人で病棟内を歩行できる ・38度以上の発熱がない		・鎮痛剤を1日1-2回使用し、疼痛のコントロールができる ・38度以上の発熱がない	
検査	□採血があります	手術入室予定時間 (: 頃)	体温、脈拍、血圧を定期的に測定します 	朝6時頃に採血があります レントゲンの撮影があります				病理検査の結果が出ていれば主治医から説明します
治療		午後から手術の場合は、術前より点滴をします	術後、点滴を続けます 	1日中点滴を続けます	眠前で点滴は終わります			退院
説明・観察	看護師がこれまでかかった病気、飲んでいる薬などについて伺います。氏名確認のためのリストバンドをつけさせていただきます 手術に備えて、和式の寝衣、T字帯、腹帯、バスタオルを各2組、吸いのみまたはストローを用意しておいてください  同意書に必要事項をご記入の上、看護師にお渡しください。 麻酔科医による診察があります	時計、指輪、眼鏡、コンタクトレンズは予めはずしておいて下さい。入れ歯は必ず必要はありませんが、看護師までお知らせください ()時以降、飲水不可となります。朝の内服薬は別紙にて説明します	傷の状態、尿の状態、発熱の有無を適宜観察します 痛み止めの注射をしていますが、それでも傷の痛みがある場合はお伝えください	まず看護師と一緒に座ったり、歩いたりしてふらつきがないか確認します。異常がなければ以後歩行可能です 	食事と薬を再開します 			退院後の生活について看護師が説明します 次回外来受診日を説明します 
処置	毛剃りと臍の掃除を行いません 		尿道とお腹に管が入っています 酸素吸入を行いません 状態に応じて痛み止めの注射が入っています	酸素吸入は終了します 毎日傷の状態をみます お腹の管が入っているところのガーゼ交換をします		お腹の管からの排液量が少なくなったら管は抜きます 傷が治癒すればガーゼははずします	尿道の管を抜去します 状態によっては抜去を延期したり、造影検査をすることがあります 傷の状態を確認した後、抜糸します 	
入浴	シャワー浴可 	入浴禁止		体拭き 		お腹の管を抜いたらシャワーに入るができます		
活動	歩行可	歩行可	ベッド上安静 	歩行可				
食事	常食	禁飲食 	禁飲食	昼から飲水開始 	朝 5分粥食 昼 7分粥食 夕 全粥食	常食		

注 入院期間については、現時点で予想されるものです